

聴覚障害関連の情報いろいろ…

今回は、「みみちゃん」にこれまで載せきれなかった、ちょっとした情報も含め、お伝えします。紹介の機会を逸しているものもありますが…役立ててください。(ちっちゃい字ですみません。)

★FM補聴システムの冊子、第2版が出る。【http://www.h-tachi.com/~fm/FM-t_small.pdf】

以前の号で紹介したこともあります。日本教育オーディオロジー研究会編の『聞こえへの配慮 FM補聴システム』の第2版が出ました。28ページの小冊子ですが、最新のFM補聴システムの使い方などを写真や図を使って分かりやすく説明されています。初版後、新しいFM補聴システムが続々と出たための改訂です。上記のサイトからダウンロードできるようになっています。

★大学での支援はどうするの? 『トピック別聴覚障害学生支援ガイド』

【<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/ce/xoops/modules/tinyd1/index.php?id=128&tmid=230>】

要約筆記やノートイク…聴覚障害学生への支援が、どうしてもいいのかわからないとき、PEPNet-Japanが作成している冊子が役立ちます。高等教育機関で活用できるものです。無償配布です。上記のサイトからダウンロードしてください。

★手話のお笑い動画『月曜男』、おもしろい上に、手話の勉強になります。

【<http://mainichi.jp/photo/news/20081210mog00m040027000c.html>】

静岡県聴覚障害者協会HPの動画ブログ「月曜男」が人気ようです。聴覚障害の森崎さん(理髪店経営)が、仕事や家族の日常のやり取りを漫談風に手話で紹介する内容です。2~3分程度の動画とテキストの要約がついており、毎週更新されています。

★映画『ゆずり葉』

全日本ろうあ連盟創立60周年記念として映画『ゆずり葉』を、制作中です。2009年6月より全国で上映となります。脚本・監督は早瀬憲太郎、主演は庄崎隆志、今井絵理子、出演・制作には多くの著名人が参加しています。例えば、西村知美、林家正蔵、井崎哲也、山本おさむ等々…

あらすじは…

ろう者への差別をなくす運動の記録映画を断念した敬一が、30年ぶりに映画制作を再開し、俳優を目指している吾朗と出会う。つらい過去を背負う敬一と生き方を模索する吾朗、映画制作の中で格闘する二人。薬剤試験に受かりながら耳が聞こえないという理由で資格を得ることができない尚美の苦悶、尚美の姉でろう学校教員のさやかか吾朗への思い、姉妹は明日への希望に願いを込めて…(チラシより)

3月には、『ゆずり葉』(汐文社発行、定価1,400円+税)の本も出版されます。

★今井絵理子さん(SPEED)の本『ココロノウタ~息子と歩んだ4年間、そしてこれから~』

NHK紅白歌合戦で、「SPEED」という女性4人グループが再結成され、歌っていましたね。その中の一人が、上記映画『ゆずり葉』で主演する今井絵理子さんです。昨年、8月に放送された『24時間テレビ』で、4歳になる愛息・礼夢くんの聴覚障害を公表しましたが、自らの経験と願いをつづったエッセイ集が出版されるようです。紅白の時もそうでしたが、SPEEDの歌の途中では今井さんが手話を使われることがあります。注目してみてください。

エッセイ集は、予価1,200円(税込)で、祥伝社より2月発売です。

★昼ドラ 愛の劇場『ラブレター』

TBS系(あいテレビ) 月~金 13:00~13:30放送中(現在45話まで放映。最終60話)

御覧の方も多いと思いますが、昨年11月から、聴覚障害の女性が主人公のドラマ『ラブレター』がテレビ放映中です。

あらすじは…

舞台は美しい瀬戸内の島・小豆島。施設で育てられ小豆島へやってきた聴覚障害のある少女・美波が里親や一生の友人、初恋の人・海司と出会い、成長していく15年間を描くラブストーリー。作品では15年間を3部作に分け、その主人公・美波をそれぞれの世代の俳優が演じ分け、それぞれの世代だから伝えられる初恋・純愛・真実の愛のかたちを丁寧に描いていく。主役の美波を演じるのは鈴木亜美(大人時代)、山下リオ(中高生時代)、松嶋友貴奈(小学生時代)…。

見逃してしまった方は、DVD(第1部、3月発売予定)購入するか、レンタルを待ってみてね。

★今年の「耳の日まつり」の開催は…

3月1日(日) 10:30~12:00 於:「エミフルMASAKI」1階グリーンコート

内容:手話コーラス、○×ゲーム、エプロンシアター、挨拶じゃんけん、指文字スタンプで名刺づくり、電話お願い手帳贈呈式

耳の日まつり実行委員会(愛媛県聴覚障害者協会・全国手話通訳問題研究会愛媛県支部・愛媛県手話サークル連絡協議会)

書籍紹介 (これまで紹介しきれなかった本を、紹介します。)

『阪神大震災・聴覚障害を持つ主婦の体験』

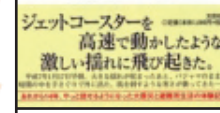
紫陽花まき／著 文芸社／発行 定価 1,050 円 (税込)

避難所生活での情報取得の困難さがリアルに伝わります。著者は、松山聾学校の卒業生で、同級生からも支援をいただいたことに感謝したということです。



『子どものための手話事典』

全日本ろうあ連盟／発行 定価 3,150 円 (税込)



『私たちの手話 新しい手話 2009』

全日本ろうあ連盟／発行 定価 800 円 (税込)



『走者〈ランナー〉～大家善一郎物語～』

季刊みみ編集部／構成 全日本ろうあ連盟／発行 定価 800 円 (税込)

「季刊みみ」に2003年から連載された漫画を一冊にまとめたものです。原作、大家善一郎著の『回想』も、ろうあ連盟より発売されています。



『盲ろう者への通訳・介助 ～「光」と「音」を伝えるための方法と技術～』

全国盲ろう者協会／編 読書工房／発行 定価 1,680 円 (税込)

『息をするように』

岡田 絵里香／著 KKベストセラーズ／発行 定価 1,380 円 (税込)

岡田さんは、映画『バベル』にエキストラキャストとして、また、映画『ポストマン』、NHK『みんなの手話』にも出演されるなど、執筆、女優、タレントとして活躍中です。

たとえ耳が聞こえなくても、イジメにあって砂場で泣かされても、両親が離婚して帰る家なくなっても、夢をあきらめなかった一小さいころの思い出や今の正直な気持ちを綴る。

他にも、2冊…



『ERICA』 岡田 絵里香／著 集英社／発行 定価 1,575 円 (税込)

ろう学校に通う小学生のころから書きためた詩。写真家・平間至とのコラボ。

『ハン☆パラー ERICA Produce Hand ★ Paradise』

岡田 絵里香／著 ぶんか社／発行 定価 1,200 円 (税込)

いつでも、どこでもナイショ話OK! 女のこたちだけのマル秘サインを大収録。



『熱風』

福田隆浩／著 講談社／発行 定価 1,470 円 (税込)

著者は、聾学校にも勤務した経験をお持ちの教員。聴覚障害を持つ孝司と病気で頭髪を失った中山は、テニスの大会でダブルスを組むことになった。しかし、……ろう者の日常も描写された文学小説。著者は、他にも児童書『この素晴らしい世界に生まれて』でも、ろう者を描いています。



『この素晴らしい世界に生まれて』

福田隆浩／著 小峰書房／発行 定価 1,470 円 (税込)

(あらすじ…主人公の里美は耳が不自由で聾学校に通っている。学校の帰りに必ずよるところがある。それは古いレンガ造りの図書館だった。…)



『みみちゃん』は、聾学校のホームページから見る事ができます。

<http://matsuyama-sd.esnet.ed.jp/> で聾学校のHPのメイン画面に入ります。新着情報にも、「みみちゃん」についてはアップしていますが、バックナンバーを見たい場合は、その画面の上の方にあるバー「自立活動」→「自立活動だより」に進んでください。

カラーで載せていますので、配布しているものよりきれいに見れます。